

2014年11月

プレスリリース

企画展「鈴木理策写真展 意識の流れ」

2015年2月1日(日) - 5月31日(日) 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館



鈴木理策 《Étude 10, F-5》 2010年

©Risaku Suzuki / Courtesy of Gallery Koyanagi

[お問い合わせ先]

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

公益財団法人ミモカ美術振興財団

展覧会担当 古野華奈子

〒763-0022 香川県丸亀市浜町 80-1

Tel. 0877-24-7755 Fax. 0877-24-7766

E-mail. press@mimoca.org

鈴木理策写真展 意識の流れ

Risaku Suzuki - Stream of consciousness

[概要]

展覧会名：鈴木理策写真展 意識の流れ

会期：2015年2月1日(日)–5月31日(日) 会期中無休 [120日間]

時間：10:00–18:00 (入館は17:30まで)

会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

協賛：株式会社熊野新聞社

協力：株式会社カシマ、株式会社KANRI、ギャラリー小柳、ゼロプラス、株式会社ニコ
ン、フォト・ギャラリー・インターナショナル、フォトグラファーズ・ラボラトリー

観覧料：一般950円(760円)、大学生650円(520円)、高校生以下または18歳未満・
丸亀市在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方は無料

・同時開催常設展「猪熊弦一郎展 未知へ向かう悦び」観覧料を含む

・()内は前売り及び20名以上の団体料金

[開催主旨]

鈴木理策(1963-)は、1980年代半ばより写真を媒体に創作活動をはじめました。1990年に初個展を開催、1998年には故郷の熊野をテーマに初の写真集『KUMANO』を上梓し、翌年出版した『PILES OF TIME』(共に光琳社出版)とともに、シークエンスの手法を用いたナラティブな構成が新しい写真表現と評価され、2000年に第25回木村伊兵衛写真賞を受賞します。その後も、写真というメディアの特性を深く掘り下げ、日本各地に残る古代信仰の場や、南仏サント・ヴィクトワール山、桜、雪、セザンヌのアトリエといった多様な対象にそれぞれ異なるアプローチで取組み、新たな作品を発表し続けています。

本展では、鈴木の新作及び未発表作を中心に、写真作品約80点と映像作品3点を展示、8×10インチフィルムを使用する大型カメラで撮影された精緻な写真群が、純粹に「見る」ことへと鑑賞者を誘います。タイトルの「意識の流れ」は、「見るという行為に身をゆだねると、取り留めのない記憶や、さまざまな意識が浮かんできて、やがてひとつのうねりの様な感情をもたらすことがある」という鈴木自身の経験に基づいてつけられたものです。目の前の写真と対峙し、そこに留められた多くのものを意識することで、鈴木が「見た」時間を追体験し、見ることのみずみずしさをあらためて知ることとなるでしょう。

[トピックス、見どころ]

- ◎ 2007年、東京都写真美術館で開催され、その斬新かつ美しいインスタレーションが話題となった「鈴木理策 熊野 雪 桜」展以来、美術館での大規模な個展はおよそ7年半ぶりとなります。ファン待望の展覧会の開催です。
- ◎ 80点におよぶ出品作のほとんどが、新作および未発表作品です。鈴木理策の「いま」をたっぷりご覧いただけます。
- ◎ 出品作品は、海岸、湖、木立、花など主に自然の風景を被写体としていますが、鈴木の主題はその場所で得られる感覚を写し撮ることにあります。大型フィルムカメラで撮影された大判の写真作品が、液晶画面や印刷物とは全く異なる「写真体験」をもたらすのです。
- ◎ 展示では、鈴木の特徴であるシークエンスの手法（複数の写真を連続した一まとまりとして構成すること）が、本展でも遺憾なく発揮されます。純粋な目で、1点1点をじっくり見ながら、シークエンスをたどることで、鈴木理策の作品世界をより深くご堪能いただけます。
- ◎ 展示の美しさにも定評のある鈴木が、谷口吉生の設計による当美術館の伸びやかな空間でどのようなインスタレーションを作り出すのか、ご期待ください。

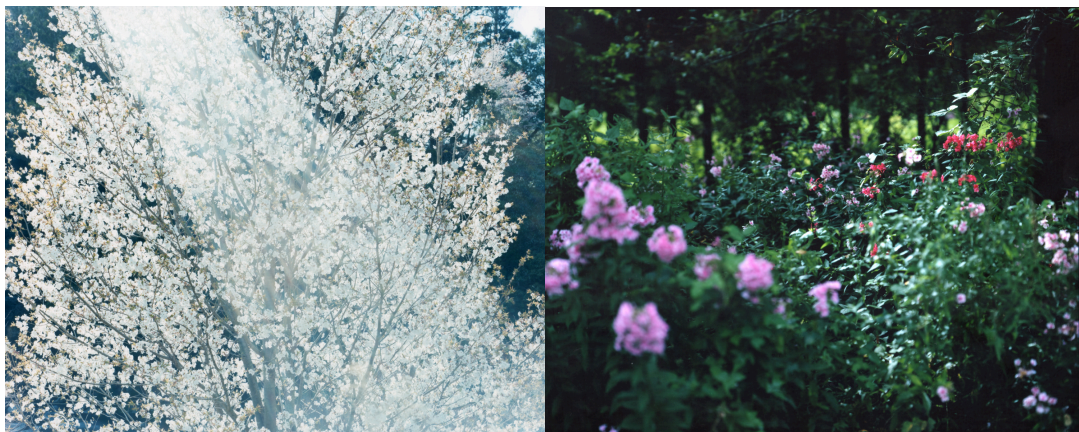
[参考図版]



《08, DK-3》2008年

《14, DK-294》2014年

《14, DK-507》2014年



《10, 4-45》2010年

《14, F-607》2014年

all images: ©Risaku Suzuki / Courtesy of Gallery Koyanagi

* 広報用画像は当館ウェブサイトよりご請求ください。 <https://www.mimoca.org/ja/press/>

[関連プログラム]

◎オープニング・トーク：鈴木理策×加瀬亮

鈴木理策と俳優、加瀬亮との対談です。親交のある二人が、本展覧会や鈴木の写真について語ります。

日時：2015年2月1日(日) 14:00-

場所：2階ミュージアムホール (170席)

料金：無料

申込：必要

申込方法：メールもしくはハガキに名前(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号・参加人数(申込者を含め2名様まで)を書いて以下までお申し込みください。

メール：talk150201@mimoca.org

ハガキ：〒763-0022 丸亀市浜町80-1 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 2月1日対談係
申込締切：2015年1月9日(金)、当日消印有効

*応募者多数の場合は抽選し、結果は申込締切後、当選者のみハガキでお知らせします。

◎濱口祐自ライブ

熊野が生んだ話題のギタリスト、濱口祐自が、同じ熊野出身の鈴木理策の作品に囲まれてライブを行います。濱口と鈴木のアフタートークもあります。

日時：2015年3月28日(土) 19:00-

場所：3階展示室C (150席)

料金：一般3,000円、ミモカフレンド会員2,500円、高校生以下1,000円(全席自由、税込、展覧会観覧料を含む)

チケット販売場所：2015年2月1日(日)10:00より当美術館1階受付または当館ウェブサイトにて販売します。

*濱口祐自ウェブサイト：www.hamaguchiyuji.com

◎キュレーターズ・トーク

本展担当キュレーター(古野華奈子、松村円)が展示室にて展覧会の見どころをお話します。

日時：会期中の日曜日 14:00- (2月1日および他の関連プログラム開催時を除く)

参加料：無料(ただし展覧会チケットが必要です)

申込み：不要(1階受付前にお集まりください)

※この他、4月、5月にも関連プログラムを予定しております。詳細決定次第、当館ウェブサイトにてお知らせします。<http://mimoca.org>

[作家プロフィール]

鈴木理策／Risaku Suzuki

- 1963 和歌山県新宮市生まれ
- 1987 東京総合写真専門学校研究科修了
- 1990 初の個展「TRUE FICTION」（吉祥寺パルコギャラリー、東京）開催
- 1998 初の写真集『KUMANO』を上梓
- 2000 第25回木村伊兵衛写真賞を受賞
- 2006 第22回東川賞国内作家賞、平成18年度和歌山県文化奨励賞受賞
- 2008 日本写真協会年度賞受賞

2006- 東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授

[主な個展]

- 2004 「唯一の時間」 西村記念館、和歌山
- 2005 「海と山のあいだ」 ギャラリー小柳、東京
- 2006 「Sakura」 Yoshii Gallery、ニューヨーク、アメリカ
- 2007 「熊野 雪 桜」 東京都写真美術館、東京
- 2009 「White」 ギャラリー小柳、東京
- 2011 「Yuki-Sakura」 Christophe Guye Galerie、チューリッヒ、スイス
- 2013 「アトリエのセザンヌ」 ギャラリー小柳、東京

[主なグループ展]

- 2000 「現代写真の母型1999」 川崎市市民ミュージアム、神奈川県
「the 1st Korea Japan Photo-Biennale」 ソウル、韓国
- 2002 「風景論」 東京都写真美術館、東京
「サイトー場所と光景」 東京国立近代美術館、東京
- 2003 「The History of Japanese Photography 1854-2000」 ヒューストン美術館、アメリカ
「KEEP IN TOUCH: Positions in Japanese Photography」 Camera Austria、オーストリア
- 2008 「建築の記憶—写真と建築の近現代」 東京都庭園美術館、東京
「Heavy Light, Recent Photography and Video from Japan」 ICP、ニューヨーク、アメリカ
- 2010 「Summer Loves」 Huis Marseille Museum for Photography、アムステルダム、オランダ
- 2013 「マンハッタンの太陽」 栃木県立美術館、栃木
- 2014 「写真分離派展 日本」 京都造形芸術大学ギャラリー・オーブ、京都

[主な写真集]

『KUMANO』(1998 光琳社出版)、『PILES OF TIME』(1999 光琳社出版)、『Saskia』(2000 リトルモア)、『Fire: February 6』(2002 Nazraeli Press)、『Mont Sainte Victoire』(2004 Nazraeli Press)、
『熊野 雪 桜』(2007 淡交社)、『Yuki Sakura』(2008 Nazraeli Press)、『雪華図』(2012 SUPER DELUXE)、
『White』(2012 edition nord)、『Atelier of Cézanne』(2013 Nazraeli Press) など

[同時開催常設展]

猪熊弦一郎展 未知へ向かう悦び

2015年2月1日(日) - 5月31日(日) 会期中無休

[次回開催企画展]

マルティナーノ・ガンパー: 100日で100脚の椅子

2015年6月13日(土) - 9月23日(水/祝) 会期中無休

猪熊弦一郎展 いのくまさんのねこ (仮称)

2015年6月13日(土) - 9月23日(水/祝) 会期中無休